

「立ち上がる農山漁村」とは？



地域、特に農山漁村が疲弊しているとよく言われていますが、自分たちの力で様々な活動を行い、元気を出している地域もあります。このような地域は他の地域に比べて決して条件に恵まれているわけではありませんが、自らの創意工夫と努力により逆境を克服しています。

そういった事例を、首相官邸で開かれる有識者会議で「立ち上がる農山漁村」として選定し、地域自ら考え行動する意欲あふれた取組を推進するために、全国に発信・奨励しています。

事例を
選定する
視点は？

- ①農山漁村を振興するために力強い情熱を持ち、
- ②地域の魅力的な資源を活用し、
- ③これまでの考えやきまりにとらわれることなく、新たな取組に挑戦し、
- ④農山漁村の経済に刺激を与え、雇用の確保につながっているような、先駆的な取組を選定しています。

有識者会議 委員 (敬称略)

平成16年5月、内閣官房で「立ち上がる農山漁村」有識者会議を開催することが了承されました。有識者会議委員は、農林水産業、農林水産物、農山漁村に造詣が深く、それに関する活動をされているなど各界の有識者により構成されています。



林 良博
(はやし よしひろ)
有識者会議座長
東京大学大学院教授



池田 弘一
(いけだ こういち)
アサヒビール
代表取締役会長



今村 司
(いまむら つかさ)
日本テレビ
編成局編成部長



織作 峰子
(おりさく みねこ)
大阪芸術大学教授、
写真家



小泉 武夫
(こいずみ たけお)
食文化論者、文筆家



田中 里沙
(たなか りさ)
宣伝会議
取締役編集室長



永島 敏行
(ながしま としゆき)
俳優



アン・マクドナルド
国連大学高等研究所、
農村漁村研究家



三國 清三
(みくに きよみ)
ホテル・ドゥ・ミクニ
オーナーシェフ

有識者会議の取組

平成16年度〈第1回〉

平成16年6月14日
首相官邸大会議室

- 「立ち上がる農山漁村」30事例が選定されました。



平成16年度第1回有識者会議

平成16年度〈第2回〉

平成17年3月17日
首相官邸大会議室

- 「立ち上がる農山漁村」選定30事例について、「成功要因」を分析し、その結果を政府全体の施策や民間の活動に活用し、他の地域へ応用する方法について検討しました。



平成16年度第2回有識者会議

平成17年度

平成17年12月8日
首相官邸大会議室

- 平成17年度の「立ち上がる農山漁村」30事例が選定されました。



平成17年度有識者会議

平成18年度〈第1回〉

平成18年9月5日
首相官邸小ホール

- 平成17年度事例代表として3団体が出席して、それぞれの活動が紹介されました。
- 有識者会議委員と事例代表者との間で意見交換が行われました。



平成18年度第1回有識者会議

平成18年度〈第2回〉

平成19年1月17日
首相官邸大ホール

- 平成18年度「立ち上がる農山漁村」50事例が選定されました。
- 選定事例に支援・協力を行っている企業や大学等の団体から、8団体が「立ち上がる農山漁村～新たな力～」として選定されました。
- 平成18年度「立ち上がる農山漁村」応募事例の代表として、4団体から各々の活動が紹介されました。



平成18年度第2回有識者会議

平成19年度

平成20年3月12日
首相官邸大会議室

- 平成19年度の「立ち上がる農山漁村」59事例が選定されました。
- 選定事例に支援・協力を行っている企業や大学等の団体から、3団体が「立ち上がる農山漁村～新たな力～」として選定されました。
- 6団体の代表者から、取組の紹介があり、これら団体の方を交えて意見交換を行いました。



平成19年度有識者会議

平成20年度

平成20年12月8日
首相官邸大会議室

- 平成20年度の「立ち上がる農山漁村」47事例が選定されました。
- 選定事例に支援・協力を行っている企業や大学等の団体から、6団体が「立ち上がる農山漁村～新たな力～」として選定されました。
- 農山漁村活性化に取り組む方々 6名を招いて、麻生総理、石破農林水産大臣をはじめとした政府関係者、有識者会議委員で意見交換が行われました。



平成20年度有識者会議